

## 財団法人日本陸上競技連盟評議員会報告

出席者 理事長 園田 隆  
副理事長 山縣 康人

日本陸連は、「公益財団法人」に移行する準備をしており、すでに評議員、理事は公益財団法人組織に合わせて選任されています。したがって、現組織での最後の評議員会となりました。

### 主な協議事項

#### 第13回世界陸上競技選手権大会マラソン代表選手について

<男子> 5名

- ・北岡 幸浩（NTN・三重）
- ・川内 優輝（埼玉陸協・埼玉）
- ・堀端 宏行（旭化成・宮崎）
- ・尾田 賢典（トヨタ自動車・愛知）
- ・中本 健太郎（安川電気・福岡） - 山口県立西市高校出身

<女子> 1名

- ・尾崎 好美（第一生命・東京）

女子の残り4名は、テグ国際マラソン、ロンドンマラソン、ボストンマラソン終了後に選考（4月20日予定）

#### 国体参加資格について

日本体育協会から示された新しい国体参加資格について説明がありました。

（3月13日理事会説明と同内容です）

東北太平洋大震災復興プロジェクトが示されました。

- ・義援金募集（主催大会などで取り組む）
- ・支援物資の受け付け
- ・トップアスリートの支援活動
- ・ゴールデングラプリ川崎（5月8日）をチャリティ大会にする
- ・義援金の寄付（日本陸連として）

以上5項目について取り組むとの説明でした。ご協力をお願いします。

平成23年度事業計画・予算が承認されました。

予算規模は、2,187,711千円です。

平成22年度の栄章受賞者が決定しました。

山口県関係者は次のとおりです。

秩父宮章	野見 恭二（防府市陸協）
高校優秀指導者章	石原 宏昭（山口県桜ヶ丘高校教員）

中学優秀指導者章 前田 香津美（下関市立長成中学校教員）

高校優秀選手章 森永 貴幸（山口県立西京高校）

中学優秀選手章 君嶋 愛梨沙（岩国市立麻里布中学校）

公認審判員S級昇格者（5名）

園田 隆 藤田 純子 品川 嵩房 中村 勝 山崎 英雄

道路競争（マラソン・駅伝）における競技役員が可能な助力の範囲について

選手の健康状態によって、主催者が緊急事態に臨機応変に対応できるように、監察員や道路管理員等に医療スタッフの権限の一部を付託しておく必要がある。

そこで、競技役員の対応と競技規則の解釈を次のように変更する。

「監察員や走路管理員等の競技役員が競技者の状態を確認したり、安全を確保したりするために一時的に競技者の身体に触れても助力とは見なさない。」

第67回（2012・岐阜）及び第68回（2013・東京）国体の種目について

実施種目について強化委員会より提案があり、陸連としての案が決定した。

成年男子 100m・400m・800m・110mH・400mH・3000mSC・10000mW  
走高跳・走幅跳・ハンマー投・やり投

少年男子A - 100m・400m・5000m・110mH・走幅跳・三段跳・砲丸投・やり投

少年男子B - 200m・3000m・110mH・走幅跳・砲丸投

少年男子共通 - 800m・5000mW・走高跳・棒高跳・円盤投

成年女子 - 100m・400m・800m・5000m・400mH・10000mW・走高跳・棒高跳  
三段跳・ハンマー投

少年女子A - 100m・400m・3000m・100mH・走幅跳・ハンマー投

少年女子B - 200m・1500m・100mH・走幅跳

少年女子共通 - 800m・棒高跳・砲丸投・やり投

以上が概要ですが、資料は事務局に保管しています。